

歯科材料 2 歯冠材料
管理医療機器 歯科加圧成形用セラミックス (70806020)

IPS e.max プレス

【形状・構造および原理等】

〔原理〕

本品をプレスファースで加圧成形し、歯科修復物を製作する。ボンディング材等で修復部分に接着、充填し、自然歯に近いセラミックス製の修復物を得る。

*〔種類〕

インゴット	色 調
HT (ハイトランスルーセンシー)	BL1,BL2,BL3,BL4,A1,A2,A3, A3.5,A4,B1,B2,B3,B4,C1,C2, C3,C4,D2,D3,D4
MT (ミディアムランスルーセンシー)	BL2,BL3,BL4,A1,A2,A3,A3.5, B1,B2,C1,C2,D2
LT (ロートランスルーセンシー)	BL1,BL2,BL3,BL4,A1,A2,A3, A3.5,A4,B1,B2,B3,B4,C1,C2, C3,C4,D2,D3,D4
MO (ミディアムオパシティ)	0,1,2,3,4
HO (ハイオパシティ)	0,1,2
Impulse (インパルス)	Opal 1,2
Multi (マルチ)	BL2,A1,A2,A3,A3.5,B1,B2,C1, C2,D2

Multi以外は、それぞれインゴット Sとインゴット Lの2種類のサイズがある。MultiのインゴットはMサイズである。

〔成分〕

二酸化ケイ素、酸化アルミニウム、酸化カリウム、酸化マグネシウム、その他

*〔付属品〕

一般的名称	販売名
歯科用陶材	・IPS e.max セラム
歯科用高温鑄造用埋没材	・IPS プレス VEST プレミアム
歯科用充填・修復材補助器具	・オプトラスティック
その他付属品	・Alox プランジャー ・Alox プランジャー セパレーター ・Multi ワンウェイプランジャー ・スプルーガイド ・Multi スプルーガイド ・インベストメントリングシステム ・Multiインベストメントリングシステム ・シリコーンリング ・Multi ワックスパターン ・オブジェクトフィックスパテ ・オブジェクトフィックスフロー

【使用目的又は効果】

歯科修復物及び補綴物の作製に用いる。

*【使用方法等】

1. 準備

・支台歯模型または金属修復物上にワックスアップし、解剖学的形態を回復する。

2. 埋没

・スプルーを植立した修復物をインベストメントリングシステムの上部にスプルーイングし、スプルーガイドで角度を確認する。

Multiの場合は、専用のMultiワックスパターンを使用し、Multiインベストメントリングシステムに植立する。Multiスプルーガイドでスプルーの位置を確認する。

・修復物のサイズや形状に応じて、シリコーンリングのサイズを選択する。

・IPS プレス VEST プレミアムを使用し、埋没を行う。

3. プレス

・歯の色調、大きさに合ったインゴットを用意する。

・AloxプランジャーにAlox プランジャー セパレーターを塗布する。(Aloxプランジャーを直接Alox プランジャーセパレーターの容器につける。)

・プレスファースの電源を入れ、スタンバイ温度にする。

・プレスプログラムを選択し、インベストメントリングのサイズを選ぶ。

・インベストメント リングを焼却ファースから取り出し、インゴットを予備加熱したインベストメント リングに入れる。インゴットは印字されている面を上にしてインベストメントリングに入れる。

・Aloxプランジャー セパレーターでコーティングしたAloxプランジャーをインベストメントリングに入れる。

・Multiの場合、インゴット、Multi ワンウェイプランジャー、Aloxプランジャーをインベストメントリングに入れる。

・インゴット、Aloxプランジャーを入れたインベストメントリングをリングトングではさみ、プレスファースの中心部にセットし、焼成プログラムを開始する。

4. 掘り出し

・徐冷にて冷ましたインベストメントリングに、Alox プランジャーの長さに合わせて印をつけ、ディスクで分割する。

・プラスターナイフで完全に切り離す。

・ガラスビーズを4気圧でブラスティングし、大まかな掘り出しを行う。この時アルミナを使用しないこと。

・掘り出しの際、修復物を破損しないよう適度な距離を保ち、慎重に除去すること。Aloxプランジャーに付いているセラミックス残留物はアルミナで除去する。

5. 反応層の除去

・入念に埋没材を除去後、圧入時に形成された反応層をインベックスリキッド(別売、販売名:IPS e.max プレス インベックスリキッド、一般的名称:歯科技工用セラミックス表面処理材、届出番号:13B1X10049IV0032、一般医療機器)を満たした蓋付きプラスチック容器に注入し、超音波洗浄を行う。反応層軟化後、1~2気圧のアルミナでブラスティングする。

6. フィニッシング(調整)

・部分的に濡らしながら、ダイヤモンドディスクを使用して、スプルーを切断する。セラミックス材の部分的な過熱を防ぐために、低速、低圧で研磨する。

・スプルーの接続面を滑らかにする。

・プレスした修復物を支台歯にセットする前にスパーサーを取り除く。支台歯にフレームを置き、慎重に調整する。亀裂の原因となり、オールセラミックス修復物の安定性を損なう場合があるので、仕上げ後も最低限の厚みを保つこと。

・必要に応じてIPS ナチュラル ダイマテリアル(別売、販売名:IPS ナチュラルダイマテリアル、一般的名称:歯科用樹脂系模型材、届出番号:13B1X10049IV0002、一般医療機器)で支台歯の色調を再現する。

- ・陶材を築盛する前に、アルミナを使用して1気圧でブラスティング後、流水またはスチーマーで清掃する。ブラスティング器具により、気圧が異なる場合があるので注意すること。

7. 築盛および焼成

- ・修復物の形状や部位に応じてIPS e.max セラム等から陶材を選択して築盛を行い、それぞれの焼成プログラムに従って、焼成トレイとオブジェクトフィックスパテとフローを使用して焼成を行う。

8. 修復物の装着

- ・完成した修復物はオプトラスティック等で口腔内の修復箇所置き、接着性セメント等で接着する。

[使用方法に関連する使用上の注意]

埋没時の注意

- ・修復物のサイズや形状に応じてシリコーンリングを選択すること。
- ・インベストメントリングシステムの上部に植立する時は、スプルーガイドでセラミックス材が流れやすい角度であるかを確認すること。
- ・IPS プレス VEST プレミアムは、取扱説明書を参照し正しく使用すること。
- ・インベストメントリングシステムにシリコーンリングを取り付ける時は、正しく適合しているかを確認すること。
- ・埋没材を流し入れる時は、気泡が入らないようにすること。
- ・埋没材が硬化後、インベストメントリングシステムからシリコーンリングを取り外す時は、回しながら取り外すこと。
- ・埋没材底部の凹凸を石膏ナイフで削って、角度を90°にすること。
- ・シリコーンリングから取り外した埋没材を焼却ファーンネスで加熱し、ワックスパターンを完全に焼却させること。
- ・埋没材の残渣が湯口に付着しないように注意すること。必要に応じて湯口から吹き出すこと。

築盛およびの焼成時の注意

- ・陶材等を築盛する前に、修復物に粉塵や油分が付着していないかを確認すること。
- ・修復物表面を滑らかに研磨した後に、できるだけ陶材・ステイン材・グレーズ材を薄く築盛・塗布し、層が厚くなり過ぎないように注意して焼成を仕上げること。
- ・修復物の汚染による変色を防ぐために、焼成ピンに修復物を固定し、焼成ピンの固定にはオブジェクトフィックスパテやオブジェクトフィックスフローを使用すること。
- ・焼成ピンは、定期的にアルミナでブラスティングし、清掃すること。

使用方法に関する注意

- ・本品を加圧成形する機器は適合するプレスファーンネスを使用し、取扱説明書をよく読み記載に従って使用すること。
- ・陶材を築盛する場合は、本品に適合する陶材を使用し、取扱説明書をよく読み、記載に従って使用すること。

【使用上の注意】

1. 使用注意

- ・通常のセメント合着で本品の修復物を連結しないこと。
- ・本品を形成する際、適切な切削器具を使用して切削すること。ガラスセラミックス修復物のフィニッシングと調整には、適切な研磨器具を使用すること。不適切な研磨器具を使用した場合、端が欠けたり部分的に過熱する場合があるので注意すること。

- ・焼成前には必ず形成後の修復物を酸化アルミナでのブラスティング、スチーマーまたは超音波洗浄などにより油分や汚れを洗浄すること。

2. 重要な基本的注意

- ・本品の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には、使用を中止し医師の診察を受けさせること。
- ・歯軋り患者または悪咬合癖患者へは本品を適用しないこと。
- ・著しく残存歯が少ない歯の修復には本品を使用しないこと。
- ・本品を必要最低限の厚さ以下に形成しないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

[製造販売元]

Ivoclar Vivadent株式会社

電話 03-6801-1301 Fax 03-5844-3657

www.ivoclarvivadent.jp

[製造元]

Ivoclar Vivadent AG (リヒテンシュタイン侯国)